

事務局報

2019年8月26日発行

発行／銀行業務検定協会・事務局 発行責任者／廣瀬 智人
〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03)3267-4821(代) ホームページ <http://www.kenteishiken.gr.jp/>

〈第143回〉銀行業務検定試験成績発表

営業店マネジメントⅠ・Ⅱ リニューアルしてスタート

去る6月2日(日)に実施しました第143回銀行業務検定試験の成績結果がでましたので、ご参考までに発表いたします。

上記試験の成績に関する受験者および研修ご担当者の皆様へのご通知・ご報告は7月31日(水)までに完了させております。

■法務2級

「法務2級」の成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数4,441名中受験者は3,619名で、合格者は808名でした。合格率は22.33%、平均点は39.57点で、ともに前回(2018年10月)とほぼ同じ結果となりました。

最高点は96点で、森見桃子さん(三井住友信託銀行)が個人最優秀賞を受賞されました。

平均点をみていくと、〈預金〉の分野では〔問題-1〕休眠預金等活用法の問題が4.06点となっています。本間は新法に関するもので、かなりの受験者にとって想定外の問題であったようです。活用法による休眠預金等の預金保険機構への移管

主要項目

- ▶ 〈第143回〉銀行業務検定試験成績発表
- ▶ 団体賞受賞団体等一覧
- ▶ 団体賞受賞団体を訪ねて
- ▶ 都道府県別合格率ランキングのご紹介
- ▶ 研修所紀行
- ▶ 10月試験のご案内

〔表-1〕法務2級・業態別成績一覧表

(合格点は50点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値)

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農 協	労 金	生・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	158	1,641	151	194	1,419	132	128	30	1	0	2	585	4,441
応募比率	3.56	36.95	3.40	4.37	31.95	2.97	2.88	0.68	0.02	0.00	0.05	13.17	100.00
受験者数	144	1,413	110	141	1,213	106	111	23	1	0	2	355	3,619
受験率	91.14	86.11	72.85	72.68	85.48	80.30	86.72	76.67	100.00	0.00	100.00	60.68	81.49
合格者数	56	332	32	26	209	7	30	8	0	0	0	108	808
合格率	38.89	23.50	29.09	18.44	17.23	6.60	27.03	34.78	0.00	0.00	0.00	30.42	22.33
平均点	44.76	40.14	39.62	37.89	37.85	35.59	40.00	43.04	47.00	0.00	37.50	42.51	39.57
年齢	25.8	31.6	31.9	38.0	36.6	38.4	40.5	35.0	36.0	0.0	27.5	34.5	34.1
勤続年数	3.0	9.2	9.0	14.6	14.2	13.8	17.5	10.4	13.0	0.0	5.5	10.5	11.4

作業は今後本格化することが予想されますので、一連の手続の内容・法的効果を正しく理解してください。〔問題－2〕取引時確認と本人確認（マネロン対応）の問題は5.43点となりました。本問については、犯罪収益移転防止法施行令7条について指摘できていない答案が多く、条文を素直かつ慎重に読む習慣を身につけてほしいところです。〔問題－3〕預金に対する差押え・滞納処分競合の問題は3.14点となりました。

〈手形・小切手〉の分野では、〔問題－4〕裏書の連続と手形所持人の権利の問題は4.96点となりました。手形の裏書行為と振出行為の分別が不十分である記述が多くありました。〔問題－5〕誤振込による預金の成立と法律関係の問題は7.08点となりました。全般的によく記述できていました。〔問題－6〕不渡異議申立ての問題は4.12点となりました。手形交換所の不渡異議申立制度に馴染みの薄い受験者にとっては難しい問題であったのかもしれませんが。白紙の答案も多く見られました。

〈融資〉の分野では、〔問題－7〕債務の相続と担保・保証の問題は5.01点となりました。本問は、前回に引き続いての出題となったこともあってか、高得点の答案が比較的多く、そうでない受験者との間で差がつかしました。〔問題－8〕根抵当権の物上代位による賃料債権の差押えの問題は2.38点となりました。該当する「相殺・債権譲渡・転付命令」の裁判例をそれぞれとり上げ、質問で聞かれたことに忠実に答え、根拠判例を明示

することが求められます。〔問題－9〕債権譲渡担保の問題は1.65点となりました。〔問題－10〕破産の問題は1.73点となりました。破産手続などの特殊整理の問題については難解として敬遠せず日頃から研さんを続けることが期待されます。〔問題－9〕〔問題－10〕は時間がないこともあったか、点数が低い結果となっています。

■法務3級

「法務3級」の成績結果は、〔表－2〕のとおりです。

応募者数17,535名中受験者は15,583名で、合格者は4,219名でした。合格率は27.07%、平均点は49.66点で、ともに前回（2018年10月）を下回りました。

最高点は94点で、大地佑さん（りそな銀行）、中井亮太さん（関西みらい銀行）、故山裕貴子さん（大同信用組合）、神宮典子さん（親和銀行）、平野一俊さん（個人申込）、の5名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〈預金〉の分野では〔問－8〕預金の差押え（28.53%）の1問、〈融資〉の分野では〔問－14〕債務の弁済（23.80%）、〔問－15〕割引手形の買戻請求権（28.24%）、〔問－16〕相殺（12.36%）、〔問－17〕連帯保証（24.84%）、〔問－19〕貸金等根保証契約（27.32%）、〔問－22〕根抵当権の元本の確定（25.23%）、〔問－24〕破産手続と民事再生手続の異同（15.99%）の7問、〈決済〉の分野で

〔表－2〕法務3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	411	5,309	686	1,430	4,409	758	1,811	471	6	4	159	2,081	17,535
応募比率	2.34	30.28	3.91	8.16	25.14	4.32	10.33	2.69	0.03	0.02	0.91	11.87	100.00
受験者数	394	4,892	583	1,236	3,998	653	1,645	412	2	4	134	1,630	15,583
受 験 率	95.86	92.15	84.99	86.43	90.68	86.15	90.83	87.47	33.33	100.00	84.28	78.33	88.87
合格者数	152	1,395	245	289	963	130	329	98	1	4	38	575	4,219
合 格 率	38.58	28.52	42.02	23.38	24.09	19.91	20.00	23.79	50.00	100.00	28.36	35.28	27.07
平均点	53.56	50.50	53.85	48.54	48.44	47.40	46.01	49.22	66.00	67.50	49.70	53.20	49.66
年 齢	23.9	26.0	25.5	27.4	27.8	29.7	33.0	30.6	34.5	35.3	40.7	30.9	28.1
勤続年数	1.4	3.4	2.8	4.9	5.6	7.2	9.8	5.8	14.0	2.3	16.5	7.0	5.3

は〔問－29〕代金取立における委託銀行の取扱い（17.68%）、〔問－30〕手形・小切手の有価証券としての性質（15.97%）、〔問－31〕白地手形（27.17%）、〔問－40〕電子記録債権と手形の比較（28.25%）の4問で、計12問でした。

とくに正解率が低かった〔問－16〕は、銀行から相殺する場合の利息等の計算期間や相殺通知について問うものでした。相殺により貸金と預金が対当額で消滅する時点は、相殺実行時ではなく相殺適状を生じた時である（民法506条2項）ため、相殺により消滅した貸金と預金について相殺適状以降の利息・損害金は発生しませんが、銀行取引約定書7条3項の特約により、実務上は、銀行から相殺する場合における利息等の計算期間を相殺の計算実行日までとされています。銀行取引約定書を参照して正確に理解してください。

他方、〈銀行取引関連法〉の分野では、正解率が30%以下となった問題はなく、好成績でした。

■財務2級

「財務2級」の成績結果は、〔表－3〕のとおりです。

応募者数7,468名中受験者は5,887名で、合格者は1,869名でした。合格率は31.75%、平均点は47.63点で、ともに前回（2018年10月）を上回りました。

最高点は97点で、山本晃博さん（近畿労働金庫）、久野博則さん（半田信用金庫）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

もっとも平均点が低かった問題は、〔問題－5〕退職給付会計（平均点：2.82点）でした。次に低かった問題は、〔問題－3〕連結修正仕訳と連結貸借対照表の作成（平均点：3.29点）でした。

〔問題－5〕は、確定給付型の退職年金制度を採用している企業の個別財務諸表における退職給付会計に関する問題です。本問は、税効果会計は考慮せず、過去勤務費用・数理計算上の差異はない設定になっており、標準的な問題でしたが、平均点は低調でした。

〔問題－3〕は、親子会社間の取引に関する〈資料〉および個別貸借対照表から連結貸借対照表を作成する問題です。連結財務諸表は、まず連結会社の個別財務諸表における各項目の金額を合算し、それに連結修正処理をする手順で作成されます。連結修正仕訳や連結修正処理にミスがあると、連結貸借対照表も得点できない問題となっているため、注意して解答する必要があります。

一方で、〔問題－6〕損益分岐点分析、〔問題－7〕収益性諸指標による2社比較分析、〔問題－8〕安全性諸指標による同業水準との比較分析、〔問題－10〕ROEの分解による分析は、過去問題で出題していることもあり、よく解答できていました。

全体の傾向として、勘定科目欄に記載された科目を正しく記載していない、端数処理を誤っているなど、問題文の指示に沿わない計算結果を示しているミスが散見されました。問題文を注意深く読み、正しい解答ができるように気をつけてください。

〔表－3〕財務2級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 ・ 連 農 協	労 金	生 ・ 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	219	3,229	235	514	1,769	77	84	4	24	2	10	1,301	7,468
応募比率	2.93	43.24	3.15	6.88	23.69	1.03	1.12	0.05	0.32	0.03	0.13	17.42	100.00
受験者数	197	2,698	154	375	1,497	66	64	4	16	2	7	807	5,887
受験率	89.95	83.56	65.53	72.96	84.62	85.71	76.19	100.00	66.67	100.00	70.00	62.03	78.83
合格者数	91	874	64	87	307	21	35	1	13	0	3	373	1,869
合格率	46.19	32.39	41.56	23.20	20.51	31.82	54.69	25.00	81.25	0.00	42.86	46.22	31.75
平均点	55.77	48.02	48.90	42.82	42.80	46.58	55.08	43.75	69.63	9.00	47.86	54.50	47.63
年齢	25.1	29.6	30.5	33.8	34.5	33.8	33.6	35.5	28.1	44.5	47.4	31.5	31.4
勤続年数	2.3	7.2	7.5	11.3	12.5	11.5	10.1	12.3	4.1	32.0	21.1	8.5	9.0

■財務3級

「財務3級」の成績結果は、〔表-4〕のとおりです。

応募者数 16,285 名中受験者は 13,863 名で、合格者は 4,594 名でした。合格率は 33.14%、平均点は 49.98 点で、ともに前回（2019 年 3 月）を下回りました。

最高点は 100 点で、笹川晶広さん（協栄信用組合）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〔問-11〕投資その他の資産の額の算出、〔問-13〕給料手当と源泉徴収等の仕訳、〔問-14〕法人税等調整額の算出と仕訳、〔問-20〕各販売形態における売上収益の実現の日、〔問-27〕為替差損益の額の算出、〔問-38〕安全余裕率の算出、の 6 問でした。

〔問-27〕は、外貨建取引の決算時の処理に関する問題です。外貨建金銭債務については、決算

時の為替相場による円換算額を付すこととなっているため、返済日においては決算日の為替相場による円換算額と、返済日における為替相場による円換算額の差による為替差損益が生じます。

〔問-14〕は、税効果会計が適用された場合の法人税等調整額の算出と仕訳に関する問題です。本問は、過去にも出題していますが、将来減算一時差異に該当する勘定科目の金額に法定実効税率を乗じ、借方に繰延税金資産、貸方に法人税等調整額を計上する仕訳を行います。

本種目では、基本的な項目を中心に、応用的な出題形式にも対応できる学習が期待されます。

■財務4級

「財務4級」の成績結果は、〔表-5〕のとおりです。

応募者数 2,657 名中受験者は 2,468 名で、合格者は 1,418 名でした。合格率は 57.46%、平均点

〔表-4〕財務3級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	523	4,836	289	1,218	4,508	744	588	35	274	4	221	3,045	16,285
応募比率	3.21	29.70	1.77	7.48	27.68	4.57	3.61	0.21	1.68	0.02	1.36	18.70	100.00
受験者数	516	4,349	228	1,007	3,925	628	522	28	205	4	169	2,282	13,863
受験率	98.66	89.93	78.89	82.68	87.07	84.41	88.78	80.00	74.82	100.00	76.47	74.94	85.13
合格者数	358	1,483	109	237	923	135	157	8	80	3	39	1,062	4,594
合格率	69.38	34.10	47.81	23.54	23.52	21.50	30.08	28.57	39.02	75.00	23.08	46.54	33.14
平均点	65.03	50.61	55.13	46.17	45.63	44.01	48.22	48.93	49.96	76.50	42.90	56.55	49.98
年齢	22.9	26.5	28.3	28.4	28.1	30.2	32.0	31.4	28.2	22.5	40.2	32.3	28.5
勤続年数	0.7	4.1	5.3	6.7	6.4	8.2	9.8	7.0	5.6	0.3	18.2	7.3	5.9

〔表-5〕財務4級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信 連 農 協	労 金	生 保 損 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	2	100	0	304	1,154	266	352	13	0	0	0	466	2,657
応募比率	0.08	3.76	0.00	11.44	43.43	10.01	13.25	0.49	0.00	0.00	0.00	17.54	100.00
受験者数	2	86	0	273	1,081	249	336	12	0	0	0	429	2,468
受験率	100.00	86.00	0.00	89.80	93.67	93.61	95.45	92.31	0.00	0.00	0.00	92.06	92.89
合格者数	1	52	0	123	636	110	172	6	0	0	0	318	1,418
合格率	50.00	60.47	0.00	45.05	58.83	44.18	51.19	50.00	0.00	0.00	0.00	74.13	57.46
平均点	70.00	62.86	0.00	57.74	61.84	56.22	59.67	62.33	0.00	0.00	0.00	70.10	62.00
年齢	23.5	25.8	0.0	23.5	23.9	23.8	24.6	34.1	0.0	0.0	0.0	38.2	26.5
勤続年数	1.5	5.9	0.0	1.4	2.7	2.1	2.4	5.3	0.0	0.0	0.0	6.5	3.2

は62.00点で、ともに前回は下回りました。

最高点は100点で、高杉一磨さん（エム・ユー・フロンティア債権回収）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－26〕移動平均法による期末商品棚卸高の額の算出、〔問－48〕買掛金残高の算出の2問でした。

〔問－26〕は、棚卸資産の評価方法や払出単価の算定方法のうち、移動平均法による問題です。移動平均法は、仕入れを行うつど平均仕入単価を算定し、それに応じて在庫単価にも反映させていく方法です。

一方で、正解率が80%を超えた問題は、〔問－1〕簿記上の取引となるもの、〔問－2〕貸借対照表等式、〔問－3〕取引要素の結合関係、〔問－4〕資産と負債の減少が同時に生じる取引、〔問－13〕商品仕入の仕訳、〔問－29〕貸倒引当金を設定する場合の仕訳、〔問－32〕無形固定資産の額の算出、の7問でした。

本種目では、簿記の基本、各勘定取引、財務諸表、財務分析、と幅広く出題しています。上級の3級や2級で応用が利くように基礎レベルの知識をしっかりと身につけることが求められます。

信託実務3級

「信託実務3級」の成績結果は、〔表－6〕のとおりです。

応募者数4,899名中受験者は4,310名で、合格者は1,761名でした。合格率は40.86%、平均点

は54.51点で、ともに前回は上回りました。

最高点は94点で、加藤正弘さん（滋賀銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－5〕受託者の義務、〔問－26〕年金税制、〔問－27〕住宅財形信託、〔問－31〕ファンドトラスト、〔問－34〕証券投資信託の委託者、〔問－35〕証券投資信託の受託者、の6問でした。一方、正解率が80%以上となった問題は、〔問－6〕信託銀行の説明義務、〔問－14〕遺言代用の信託、〔問－36〕売掛債権信託の仕組み、〔問－39〕資産流動化における信託の利用、の4問でした。

正解率が低調であった問題は、信託制度や各法令に関する知識を問うものであり、各法令や各信託の基本的な事項、商品知識に関する知識が問われるものでした。

正解率が良好であった問題は、いずれも過去問題を繰り返して学習していれば十分に対応できる問題でした。

解答状況全般としては、過去問題を十分に学習した成果があらわれ、比較的良好な結果となりました。

信託法制に関する出題は、比較的難度が高くなる傾向にありますが、基本的な知識を着実に身につけていれば十分に正答にたどりつくことができます。

本種目の学習においては、信託の基本的な考え方を理解し、制度を正確に把握することが重要です。基本書となる参考図書や通信講座を学習する

〔表－6〕 信託実務3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 地銀	二 信金	信組	信・ 連 農協	労金	生・ 保 損保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	145	1,212	2,103	53	122	2	32	2	2	11	0	1,215	4,899
応募比率	2.96	24.74	42.93	1.08	2.49	0.04	0.65	0.04	0.04	0.22	0.00	24.80	100.00
受験者数	141	1,079	1,938	46	108	2	27	1	2	9	0	957	4,310
受験率	97.24	89.03	92.15	86.79	88.52	100.00	84.38	50.00	100.00	81.82	0.00	78.77	87.98
合格者数	67	289	940	12	27	2	7	0	2	6	0	409	1,761
合格率	47.52	26.78	48.50	26.09	25.00	100.00	25.93	0.00	100.00	66.67	0.00	42.74	40.86
平均点	57.53	48.87	57.40	51.96	50.76	79.00	50.37	26.00	67.00	64.67	0.00	55.06	54.51
年齢	25.3	36.6	28.9	38.3	38.5	35.0	36.3	28.0	43.0	30.7	0.0	35.6	32.6
勤続年数	2.8	14.5	5.4	15.5	17.5	11.0	11.8	0.0	20.0	4.1	0.0	11.6	9.5

とともに、各種関連法令にもあたることをお勧めします。

なお、〔問－6〕は出題不備があり、受験者全員を正解扱いとしました（13頁参照）。

金融経済3級

「金融経済3級」の成績結果は、〔表－7〕のとおりです。

応募者数 2,731 名中受験者は 2,340 名で、合格者は 1,001 名でした。合格率は 42.78%、平均点は 55.14 点で、ともに前回は下回りました。

最高点は 90 点で、小柳久美子さん（日本生命保険）、山崎洋志さん、高野聡平さん（以上、個人申込）の 3 名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〈金融〉では〔問－7〕金融商品市場の動向、〔問－8〕オプション取引、〔問－15〕イールドカーブの 3 問、〈財政〉では〔問－49〕地方財政の 1 問、の計 4

問でした。

本種目では、時事問題を出題しているため、問題解説集による過去問題の学習だけでは十分とはいえません。日頃から報道に関心をもつとともに、重要な出来事や用語については、内容を正しく理解することが求められます。

デリバティブ3級

「デリバティブ3級」の成績結果は、〔表－8〕のとおりです。

応募者数 603 名中受験者は 448 名で、合格者は 143 名でした。合格率は 31.92%、平均点は 49.33 点で、ともに前回は下回りました。

最高点は 88 点で、栗原滋さん（大阪シティ信用金庫）、江川隆太さん（個人申込）の 2 名が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が 30% 以下となった問題は、〔問－2〕金融商品取引業から除外される店頭デリバティブ

〔表－7〕金融経済3級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	41	1,010	549	117	194	56	56	22	90	9	31	556	2,731
応募比率	1.50	36.98	20.10	4.28	7.10	2.05	2.05	0.81	3.30	0.33	1.14	20.36	100.00
受験者数	37	904	474	93	162	48	48	19	74	9	28	444	2,340
受験率	90.24	89.50	86.34	79.49	83.51	85.71	85.71	86.36	82.22	100.00	90.32	79.86	85.68
合格者数	21	413	180	38	40	20	23	10	30	5	13	208	1,001
合格率	56.76	45.69	37.97	40.86	24.69	41.67	47.92	52.63	40.54	55.56	46.43	46.85	42.78
平均点	59.24	56.09	53.80	54.90	49.90	53.67	56.92	60.00	53.38	62.00	57.21	56.03	55.14
年齢	29.3	29.6	33.7	32.7	35.7	32.7	32.7	32.3	34.0	30.9	38.9	35.3	32.5
勤続年数	7.2	7.5	11.0	9.5	13.7	11.5	10.7	10.0	10.0	6.4	17.3	10.3	9.6

〔表－8〕デリバティブ3級・業態別成績一覧表

（合格点は 60 点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	29	279	11	11	11	0	10	4	3	3	0	242	603
応募比率	4.81	46.27	1.82	1.82	1.82	0.00	1.66	0.66	0.50	0.50	0.00	40.13	100.00
受験者数	27	230	7	11	10	0	9	3	1	2	0	148	448
受験率	93.10	82.44	63.64	100.00	90.91	0.00	90.00	75.00	33.33	66.67	0.00	61.16	74.30
合格者数	7	81	1	2	2	0	7	0	0	0	0	43	143
合格率	25.93	35.22	14.29	18.18	20.00	0.00	77.78	0.00	0.00	0.00	0.00	29.05	31.92
平均点	44.74	50.50	41.71	47.82	50.80	0.00	64.89	28.67	42.00	54.00	0.00	48.18	49.33
年齢	28.9	32.5	28.0	38.0	39.7	0.0	32.8	36.3	37.0	28.0	0.0	33.0	32.7
勤続年数	5.9	9.7	5.7	15.4	16.1	0.0	13.5	22.0	11.0	3.0	0.0	8.6	9.5

取引、〔問－22〕選択権付債券売買取引、〔問－27〕オプション取引の証拠金、〔問－30〕スワップション、〔問－35〕金利スワップのコンプレッション、の5問と少なく、平均的によく得点されていました。

〔問－2〕〔問－27〕〔問－35〕は、新テーマのため、難度の高い問題であったといえます。

〔問－22〕は、定番のテーマであり、問う内容も従前の傾向どおりですが、低い正解率となることが多い問題です。

〔問－30〕は、テーマとしては定番ですが、これまでは文章題を出題することが多かったものです。今回は、計算問題としたことから、過去問題のみでは対策ができなかったと思われます。

本種目は、金融取引の制度・規制、マーケットの仕組み、計算問題、リスク管理、時事的な事項など、多岐にわたる出題をしますが、苦手とする分野も少なく、非常によく学習をされていると感じました。

■ 窓口セールス3級

「窓口セールス3級」の成績結果は、〔表－9〕のとおりです。

応募者数1,252名中受験者は1,145名で、合格者は613名でした。合格率は53.54%、平均点は59.49点で、ともに前回は上回りました。

最高点は94点で、河合優子さん（陶都信用農業協同組合）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問－16〕

為替業務、〔問－20〕「家計の金融行動に関する世論調査」からわかること、〔問－34〕投資信託の分配金受取時の状況、〔問－39〕NISA（少額投資非課税制度）、の4問でした。

本種目の出題範囲のうち、「金融商品知識」「相談業務」および「金融経済知識」は、法改正等の影響を受ける分野です。受験にあたっては、過去問題の学習だけでなく、改正点を押さえることが重要です。また、これらの改正点は、金融機関の窓口を訪れるお客様にとっても関心のあるところだと考えられます。本種目の受験を機に学習し、実務に役立ててください。

■ 法人融資渉外2級

「法人融資渉外2級」の成績結果は、〔表－10〕のとおりです。

応募者数865名中受験者は711名で、合格者は155名でした。合格率は21.80%、平均点は46.92点で、ともに前回とほぼ同じ結果となりました。

最高点は86点で、荒木朋由希さん（池田泉州銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

今回、平均点が3点以下となった問題はⅨ〔動産譲渡担保徴求時の留意点と債権回収〕の1題でした。本問は、近年の判例をふまえた問題ですので、融資に関する時事問題に日頃から関心をもつことが大切です。

一方、平均点が5点を越えた問題はⅠ〔業種別貸出金セールス〕、Ⅱ〔設備資金〕、Ⅲ〔損益分岐点分析と必要売上高の計算〕、Ⅳ〔取引先企業か

〔表－9〕 窓口セールス3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	3	442	0	135	352	75	86	13	1	0	1	144	1,252
応募比率	0.24	35.30	0.00	10.78	28.12	5.99	6.87	1.04	0.08	0.00	0.08	11.50	100.00
受験者数	3	405	0	123	329	69	81	11	1	0	1	122	1,145
受 験 率	100.00	91.63	0.00	91.11	93.47	92.00	94.19	84.62	100.00	0.00	100.00	84.72	91.45
合格者数	2	232	0	73	148	33	26	9	0	0	0	90	613
合 格 率	66.67	57.28	0.00	59.35	44.98	47.83	32.10	81.82	0.00	0.00	0.00	73.77	53.54
平均点	65.33	61.14	0.00	60.33	57.14	56.43	53.41	67.27	56.00	0.00	48.00	64.59	59.49
年 齢	35.0	28.9	0.0	26.9	31.8	30.3	28.0	33.8	45.0	0.0	53.0	31.9	29.9
勤続年数	7.0	5.9	0.0	5.2	10.5	7.6	6.3	8.6	27.0	0.0	5.0	9.0	7.6

らの貿易の相談]、V〔新規融資取引の推進〕の5題でした。

本種目は、取引先に融資する際の財務分析結果やその他も勘案した判断力、取引先への提案力などを問う記述式試験です。普段からデータを明示しながら自身の考えを説明できる能力を身につけましょう。

法人融資渉外3級

「法人融資渉外3級」の成績結果は、〔表－11〕のとおりです。

応募者数1,389名中受験者は1,185名で、合格者は334名でした。合格率は28.19%、平均点は51.14点で、ともに前回は下回りました。

最高点は85点で、奥田貴之さん（伊予銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は〈基本知識（五答択一式、事例付五答択一式）〉と〈技能応用（記述式）〉で構成されて

います。

〈基本知識〉で正解率が30%以下となった問題は、〔問－1〕一般的な社会情勢、〔問－8〕日本政策金融公庫の新創業融資制度、〔問－11〕抵当権、〔問－15〕各種担保の性質、〔問－23〕取引時確認の確認事項等、〔問－26〕事業承継税制の適用要件、の6問でした。

〈技能応用〉の3題の平均点は、各10点中、〔問題－1〕設備投資（6.29点）、〔問題－2〕企業別貸出金セールス（2.88点）、〔問題－3〕コンプライアンス（7.04点）でした。

技能応用の平均点が前回よりも高めであったにもかかわらず、択一式の正解率30%以下の問題が前回よりも多い6問であったため、全体の合格率が低い結果となりました。とくに取引先へのアドバイスとして有効である制度面の知識等も身につけ、普段の実務につなげられるようにしてください。

〔表－10〕法人融資渉外2級・業態別成績一覧表 （合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	15	546	0	62	88	19	2	0	0	0	0	133	865
応募比率	1.73	63.12	0.00	7.17	10.17	2.20	0.23	0.00	0.00	0.00	0.00	15.38	100.00
受験者数	14	470	0	48	71	16	2	0	0	0	0	90	711
受 験 率	93.33	86.08	0.00	77.42	80.68	84.21	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	67.67	82.20
合格者数	10	100	0	12	8	0	0	0	0	0	0	25	155
合 格 率	71.43	21.28	0.00	25.00	11.27	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	27.78	21.80
平 均 点	64.50	47.54	0.00	47.98	40.46	31.44	38.00	0.00	0.00	0.00	0.00	48.44	46.92
年 齢	31.8	33.5	0.0	36.8	38.6	36.6	35.5	0.0	0.0	0.0	0.0	34.8	34.5
勤続年数	9.5	11.3	0.0	14.2	15.2	13.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.9

〔表－11〕法人融資渉外3級・業態別成績一覧表 （合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農・協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	47	567	0	188	358	80	10	0	1	0	1	137	1,389
応募比率	3.38	40.82	0.00	13.53	25.77	5.76	0.72	0.00	0.07	0.00	0.07	9.86	100.00
受験者数	45	495	0	157	306	73	9	0	1	0	1	98	1,185
受 験 率	95.74	87.30	0.00	83.51	85.47	91.25	90.00	0.00	100.00	0.00	100.00	71.53	85.31
合格者数	33	174	0	37	49	6	0	0	0	0	0	35	334
合 格 率	73.33	35.15	0.00	23.57	16.01	8.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	35.71	28.19
平 均 点	64.27	53.46	0.00	49.97	46.90	45.04	44.44	0.00	38.00	0.00	57.00	53.73	51.14
年 齢	29.4	29.8	0.0	32.4	33.9	35.5	33.9	0.0	49.0	0.0	40.0	32.1	31.8
勤続年数	6.9	7.3	0.0	10.0	11.2	12.7	10.9	0.0	27.0	0.0	22.0	9.3	9.2

個人融資渉外3級

「個人融資渉外3級」の成績結果は、〔表－12〕のとおりです。

応募者数1,307名中受験者は1,207名で、合格者は432名でした。合格率は35.79%、平均点は52.84点で、ともに前回は下回りました。

最高点は89点で、立川裕子さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、五答択一式15問、事例付五答択一式20問および事例付記述式3題で構成されています。

〈基本知識〉の五答択一式および事例付五答択一式で正解率が30%以下となった問題は、〔問－10〕定期借地権、〔問－18〕援助資金額に対する贈与税課税、〔問－21〕フラット35・フラット35 Sの利用、の3問でした。

〈技能応用〉の事例付記述式では〔問題－1〕普通保証と連帯保証が、出題した3題のなかではやや低調な結果となりました。

解答状況について、択一式の問題の全体としては、平均点が40.41点となり、前回同様に標準的な結果となりました。正解率が低調だった問題は、制度改正等につき理解が必要な問題や法律的な知識を要する問題、商品知識や応用力が必要な問題でした。前回よりやや難度が高く、いずれの問題も正確な知識にもとづいて具体的に解答しないと得点しづらい出題であったため、高得点者との得点の差が大きくなりました。

本種目は、個人にかかる渉外業務に携わるうえ

で必要な業務知識の習得度合いを総合的に判定するものであり、出題内容が多岐にわたります。学習に際しては、いままでの業務を通して積み重ねてきた法務・財務・税務等の基本的な知識と融資業務における基本事項にかかる知識を再確認しておくことが重要です。

金融リスクマネジメント2級

「金融リスクマネジメント2級」の成績結果は、〔表－13〕のとおりです。

応募者数716名中受験者は642名で、合格者は178名でした。合格率は27.73%、平均点は53.00点で、ともに前回は下回りました。

最高点は83点で、宮岡良多さん（伊予銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、四答択一式35問と記述式3題で構成されています。

四答択一式で正解率が30%以下となった問題は、〔問－5〕経営者リスク、〔問－15〕変額個人年金保険の商品性、〔問－27〕消費者契約法、〔問－29〕各種取引規定、の4問でした。

一方、正解率が80%を超えた問題は、〔問－1〕リスクマネジメントの形態、〔問－7〕市場リスク、〔問－23〕「3つの防衛線」の枠組み、〔問－28〕リスクベース・アプローチにおけるリスクの特定、〔問－33〕企業の成長可能性を重視した融資等の取組み、の5問でした。

本種目の学習にあたっては、過去問題で出題傾向を把握し、毎事務年度の金融行政方針をはじめ

〔表－12〕個人融資渉外3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	4	458	4	88	317	72	268	17	0	0	1	78	1,307
応募比率	0.31	35.04	0.31	6.73	24.25	5.51	20.50	1.30	0.00	0.00	0.08	5.97	100.00
受験者数	3	424	2	78	295	67	255	17	0	0	1	65	1,207
受 験 率	75.00	92.58	50.00	88.64	93.06	93.06	95.15	100.00	0.00	0.00	100.00	83.33	92.35
合格者数	2	209	1	28	97	25	30	6	0	0	0	34	432
合 格 率	66.67	49.29	50.00	35.90	32.88	37.31	11.76	35.29	0.00	0.00	0.00	52.31	35.79
平均点	66.67	58.60	55.50	53.12	53.09	55.04	40.98	49.94	0.00	0.00	54.00	58.08	52.84
年 齢	45.3	32.1	43.0	31.0	31.0	35.0	31.4	30.9	0.0	0.0	53.0	35.3	32.0
勤続年数	10.0	9.5	27.0	9.2	9.4	11.6	8.3	6.5	0.0	0.0	36.0	10.6	9.4

とする関連資料や、大きな改正のあった法令などを確認・整理しておくことが大切です。

金融商品取引3級

「金融商品取引3級」の成績結果は、〔表-14〕のとおりです。

応募者数1,253名中受験者は1,106名で、合格者は342名でした。合格率は30.92%、平均点は50.71点で、ともに前回は上回りました。

最高点は96点で、戸塚菜月さん（日本トラスティ・サービス信託銀行）が個人最優秀賞を受賞されました。

正解率が30%以下となった問題は、〔問-3〕金融商品取引法の定義規定、〔問-19〕公募投資信託の商品分類、〔問-30〕店頭デリバティブ取引、〔問-33〕金融商品取引法上の不法行為と罰則等、〔問-41〕投資信託財産の保全、の5問と少なく、平均的によく得点されていました。

〔問-3〕〔問-33〕は出題頻度の低いテーマ、〔問-19〕〔問-41〕は新テーマのため、難度の高い問題であったといえます。

〔問-30〕は、定番のテーマであり、問う内容も従前の傾向どおりですが、低い正解率となることが多い問題です。

本種目の出題範囲は、このところ、以前ほどの頻度でなくなったものの、制度変更や法改正の多い分野です。常に新しい知識をもつようになりたいと思います。

事業性評価3級

「事業性評価3級」の成績結果は、〔表-15〕のとおりです。

応募者数2,277名中受験者は2,058名で、合格者は434名でした。合格率は21.09%、平均点は51.16点で、ともに前回（2018年10月）を下回りました。

〔表-13〕 金融リスクマネジメント2級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	1	267	17	125	125	13	10	82	0	0	0	76	716
応募比率	0.14	37.29	2.37	17.46	17.46	1.82	1.40	11.45	0.00	0.00	0.00	10.61	100.00
受験者数	1	240	17	111	111	12	9	78	0	0	0	63	642
受験率	100.00	89.89	100.00	88.80	88.80	92.31	90.00	95.12	0.00	0.00	0.00	82.89	89.66
合格者数	0	85	10	18	21	4	1	18	0	0	0	21	178
合格率	0.00	35.42	58.82	16.22	18.92	33.33	11.11	23.08	0.00	0.00	0.00	33.33	27.73
平均点	54.00	55.34	62.35	51.33	51.05	53.83	50.22	48.33	0.00	0.00	0.00	53.90	53.00
年齢	45.0	40.0	44.5	40.0	42.4	42.6	39.0	39.6	0.0	0.0	0.0	41.5	40.7
勤続年数	23.0	17.5	22.1	16.6	19.6	22.1	17.8	15.4	0.0	0.0	0.0	16.9	17.7

〔表-14〕 金融商品取引3級・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他 団 体 個 人	全 体
応募者数	51	600	31	49	272	17	38	20	4	3	0	168	1,253
応募比率	4.07	47.89	2.47	3.91	21.71	1.36	3.03	1.60	0.32	0.24	0.00	13.41	100.00
受験者数	45	533	25	46	251	14	35	19	3	3	0	132	1,106
受験率	88.24	88.83	80.65	93.88	92.28	82.35	92.11	95.00	75.00	100.00	0.00	78.57	88.27
合格者数	7	187	14	14	50	1	10	6	2	2	0	49	342
合格率	15.56	35.08	56.00	30.43	19.92	7.14	28.57	31.58	66.67	66.67	0.00	37.12	30.92
平均点	46.44	53.07	63.20	46.43	45.63	41.57	46.57	47.68	66.00	57.33	0.00	53.44	50.71
年齢	26.6	32.0	32.6	32.8	32.9	37.2	34.1	35.1	52.7	26.0	0.0	36.6	32.8
勤続年数	4.0	9.2	5.6	8.2	10.4	14.3	9.9	11.3	16.7	3.3	0.0	12.0	9.7

最高点は80点で、佐々木浩さん（商工組合中央金庫）、内田欣也さん（個人申込）の2名が個人最優秀賞を受賞されました。

〈基本知識〉で正解率が30%以下となった問題は、〔問－2〕金融仲介機能の発揮状況、〔問－4〕日本型金融排除、〔問－9〕保証協会の信用補完制度改革、〔問－12〕バリューチェーン、〔問－14〕総資産回転率、〔問－17〕強みの理解、〔問－19〕4C、〔問－24〕経営デザインシート、〔問－26〕中小企業等経営強化法・経営承継円滑化法、〔問－40〕取引先が属する業界の理解、の10問でした。

一方、正解率が80%を超えた問題は、〔問－23〕後継者不在企業への対応、〔問－25〕地域に根ざした地域金融機関のあるべき姿、〔問－29〕事業再生期の企業の課題認識と支援協力のあり方、〔問－49〕成熟企業の支援、の4問でした。

取引先の事業を理解するためには、取引先やそ

の属する業界を分析する必要があり、分析方法を押さえておくことは有効です。また分析を通じて課題がみえた際に、その課題を解決するためにも、日頃から取引先の周囲の環境・制度について理解を深めておくと、本種目のみならず実務に活かせることと思います。

■ 営業店マネジメント I

「営業店マネジメント I」の成績結果は、〔表－16〕のとおりです。

応募者数1,119名中受験者は946名で、合格者は297名でした。合格率は31.40%、平均点は55.44点でした。

最高点は75点で、初野俊介さん（個人申込）が個人最優秀賞を受賞されました。

10題中、平均点が5点を下回った問題は、〈組織活性化〉の分野で出題した〔問題－2〕組織の強化と支店長の役割、〈事務リスク管理〉の分野

〔表－15〕 事業性評価3級・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・銀 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	294	717	1	105	655	135	92	1	1	1	1	274	2,277
応募比率	12.91	31.49	0.04	4.61	28.77	5.93	4.04	0.04	0.04	0.04	0.04	12.03	100.00
受験者数	287	645	1	94	582	123	87	1	0	1	1	236	2,058
受 験 率	97.62	89.96	100.00	89.52	88.85	91.11	94.57	100.00	0.00	100.00	100.00	86.13	90.38
合格者数	139	137	1	14	46	7	9	0	0	0	0	81	434
合 格 率	48.43	21.24	100.00	14.89	7.90	5.69	10.34	0.00	0.00	0.00	0.00	34.32	21.09
平 均 点	59.02	52.26	64.00	49.23	47.37	45.12	45.79	48.00	0.00	44.00	36.00	53.92	51.16
年 齢	37.2	32.5	26.0	32.6	35.9	36.9	37.0	43.0	0.0	47.0	42.0	36.9	35.1
勤続年数	14.7	10.3	3.0	11.1	14.2	14.7	15.2	11.0	0.0	0.0	8.0	13.7	12.9

〔表－16〕 営業店マネジメント I・業態別成績一覧表

（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・銀 特 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個 人	全 体
応募者数	68	549	1	166	150	11	3	18	0	0	0	153	1,119
応募比率	6.08	49.06	0.09	14.83	13.40	0.98	0.27	1.61	0.00	0.00	0.00	13.67	100.00
受験者数	66	462	1	154	123	6	3	14	0	0	0	117	946
受 験 率	97.06	84.15	100.00	92.77	82.00	54.55	100.00	77.78	0.00	0.00	0.00	76.47	84.54
合格者数	34	155	0	43	22	0	1	3	0	0	0	39	297
合 格 率	51.52	33.55	0.00	27.92	17.89	0.00	33.33	21.43	0.00	0.00	0.00	33.33	31.40
平 均 点	58.53	56.02	56.00	54.73	52.04	50.83	57.00	55.93	0.00	0.00	0.00	56.03	55.44
年 齢	40.7	41.5	53.0	41.6	42.0	42.3	47.7	38.9	0.0	0.0	0.0	41.2	41.5
勤続年数	18.1	18.6	30.0	18.6	19.7	21.0	25.3	15.4	0.0	0.0	0.0	17.4	18.6

で出題した〔問題－5〕マネー・ローンダリング／テロ資金供与の防止の2題でした。

本種目「営業店マネジメントⅠ」は、本年度より「営業店管理Ⅰ」をリニューアルした試験です。レベル感は同様ですが、マネジメントにおける課題をどのように捉え実行するか等がより問われる試験となっています。近年では、とくに働き方改革の実践が求められており、支店長をはじめとする管理者は、労働環境の面においても、さらなる理解力・実行力が試されるようになりました。本種目の受験にあたっては、こうした関連情報に目を向けて自身の考えをまとめておくことが大切です。

■ 営業店マネジメントⅡ

「営業店マネジメントⅡ」の成績結果は、〔表－17〕のとおりです。

応募者数1,469名中受験者は1,305名で、合格者は751名でした。合格率は57.55%、平均点は60.38点でした。

最高点は82点で、道井一輝さん（個人申込）

が個人最優秀賞を受賞されました。

本種目は、四択一式と記述式で構成されています。

四択一式で正解率が30%以下となった問題は、〔問－5〕マネジャーのプライオリティマネジメント、〔問－24〕個人情報の管理、〔問－25〕NISA、〔問－40〕新商品・新サービスなど、の4問でした。また、記述式で平均点が5点を下回った問題は、〈営業推進〉の分野で出題した〔問－46〕「その他の付随業務」の留意点、の1題でした。

本種目「営業店マネジメントⅡ」は、本年度より「営業店管理Ⅱ」をリニューアルしました。レベル感と同様ですが、出題範囲等を一部変更し、マネジメントで初級管理者が抱える課題について、理論や手法など多岐にわたって問われる試験となっています。初級管理者はプレイングマネジャーとしての活躍が期待されており、今後も基本知識から近時の関連情報まで、幅広い知識が求められます。

〔表－17〕 営業店マネジメントⅡ・業態別成績一覧表（合格点は60点以上。年齢・勤続年数は受験者の平均値）

	都・特 銀 銀	地 銀	信 託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・連 農 協	労 金	生・保 損 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数	18	493	0	221	304	52	32	169	0	0	0	180	1,469
応募比率	1.23	33.56	0.00	15.04	20.69	3.54	2.18	11.50	0.00	0.00	0.00	12.25	100.00
受験者数	18	446	0	204	273	46	25	145	0	0	0	148	1,305
受 験 率	100.00	90.47	0.00	92.31	89.80	88.46	78.13	85.80	0.00	0.00	0.00	82.22	88.84
合格者数	16	289	0	123	128	14	11	78	0	0	0	92	751
合 格 率	88.89	64.80	0.00	60.29	46.89	30.43	44.00	53.79	0.00	0.00	0.00	62.16	57.55
平 均 点	66.06	61.65	0.00	61.43	58.91	54.57	56.16	58.61	0.00	0.00	0.00	61.37	60.38
年 齢	39.3	35.7	0.0	39.2	37.7	42.8	43.5	39.2	0.0	0.0	0.0	35.7	37.5
勤続年数	16.4	12.7	0.0	15.9	15.5	19.4	21.4	15.4	0.0	0.0	0.0	12.0	14.5

